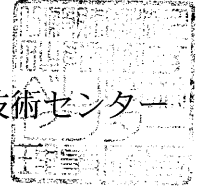


技 発 第 2 3 - 2 号
平成 2 8 年 1 0 月 2 5 日

一般社団法人 斜面防災対策技術協会

会長 奥山 和彦 殿

一般財団法人 砂防・地すべり技術センター
理事長 近藤 浩



平成 2 8 年度「砂防地すべり技術研究成果報告会」の開催について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターに種々ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当センターでは、研究開発助成事業として平成 4 年度から 1 3 8 課題の助成を行ってまいりました。本年度も昨年度に引き続いて「平成 2 8 年度 砂防地すべり技術研究成果報告会」を開催し、研究成果の一部を発表していただく予定でございます。つきましては是非ご出席いただきたく、下記のとおりご案内する次第です。

また、本報告会は砂防学会の継続教育 (CPD) プログラムに認定されております。

以上貴関係職員へご周知頂き、誠にお手数ではございますが
1 1 月 1 8 日 (金) までに 別添の F A X 申込書 または 当センターホームページ (<http://www.stc.or.jp/>) 「申込フォーム」にてご返事いただきたく併せてお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成 2 8 年 1 1 月 2 2 日 (火) 1 3 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0
2. 場 所 砂防会館 別館シェーンバッハ・サボア「淀・信濃」
東京都千代田区平河町 2 - 7 - 4
電 話 (0 3) - 3 2 6 1 - 8 3 8 6

○問い合わせ先：一般財団法人 砂防・地すべり技術センター
企画部 担当：仲野
東京都千代田区九段南 4 - 8 - 2 1 山脇ビル
電 話 (0 3) - 5 2 7 6 - 3 2 7 1
F A X (0 3) - 5 2 7 6 - 3 3 9 1
U R L : <http://www.stc.or.jp/>

平成 28 年度砂防地すべり技術研究成果報告会プログラム

開催日時：平成 28 年 11 月 22 日（火）13:30～17:00

場 所：砂防会館 別館シェーンバッハ・サボー（1階：淀・信濃）

13:30	開会挨拶	
13:35	来賓挨拶	
13:40	発表 1	シナリオシミュレーションシステムを用いた低頻度災害時における避難行動要因の解明 伊藤 英之（岩手県立大学 総合政策学部）
14:10	発表 2	深層崩壊前微動土塊の干渉 SAR 広域探索調査・崩壊危険度評価手法の確立に向けた検討 水野 正樹（新潟大学 災害・復興科学研究所）
14:40	発表 3	溪床堆積物再移動型土石流の発生につながる伏流水の変動特性と降雨指標による発生領域評価 山田 孝（三重大学大学院 生物資源学研究科）
15:10	休憩（15分）	
15:25	発表 4	TDR（時間領域反射測定法）による流砂量連続観測手法の開発と流砂観測網高精度化への活用 宮田 秀介（京都大学 防災研究所）
15:55	発表 5	湧水シミュレーションの高度利用化による付加体堆積岩山地における深層崩壊予測精度の向上 小杉 賢一朗（京都大学 農学研究科）
16:25	発表 6	大規模地震発生後の警戒・避難基準雨量の設定とその解除時期に関する研究 平松 晋也（信州大学 農学部）
16:55	閉会挨拶	
17:00	終了	

【事務局記入欄(返信用)】 お申し込みいただき誠にありがとうございました。

受付日 平成 28 年 月 日

お問い合わせ

ご登録を受け付けました。

事務局 03-5276-3271 企画部 仲野

平成 28 年 月 日()

(一財)砂防・地すべり技術センター

企画部 行

FAX: 03-5276-3391

「平成28年度 砂防地すべり技術研究成果報告会」参加申込用紙

「平成28年度 砂防地すべり技術研究成果報告会」への参加を申し込みます。

■所属機関

ふりがな	
名称	

■住所・連絡先

住所	〒	
代表連絡先	TEL :	FAX :

■参加希望者

1	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :
2	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :
3	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :
4	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :
5	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :
6	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :
7	氏名		
	所属部署・役職	部署 :	役職 :

■どのようにしてこの報告会をお知りになりましたか(任意)

- 機関誌SABO 砂防学会誌 地すべり学会誌 当センターホームページ
当センターから配送している案内状 人からの紹介